

救急安心カードについて

日野市の支援と消防署の協力で推進しています。

日野団塊世代広場

1. 目的

救急車を呼んで適切な処置を受けるには救急隊員が救急患者の詳細（掛かり付け医、アレルギーの有無、常用薬、緊急時の連絡先など）を的確に把握出来ることが望ましいです。特に高齢者は何らかの疾患があったり、常用薬を用いている人が多いと考えられますが、緊急時に患者本人や回りの人が的確に答えられない場合もあります。

「救急安心カード」は、主にそのような方々に利用して貰うものです。

2. 仕組み

◎事前準備（利用者）：「安心カード」他の必要機材は自治会経由で当方から支給します。

- ① 「安心カード」へ必要情報記入してください：記入項目は消防署の助言を得て作成
- ② 「安心カード」を所定ケースに入れて冷蔵庫の内側ドアポケットに収容（ケースには目印ステッカーを貼付）する。
- ③ 「安心カード」の入っている冷蔵庫扉表面上部に目印ステッカーを貼る。
- ④ 玄関ドア内側上部に目印ステッカーを貼り、「安心カード」導入宅の目印とする。

※保管ケース、冷蔵庫表面上部、玄関ドア内側上部の三か所に貼られるステッカーはすべて同じものです。

保管場所、シールの貼付場所等は各家庭で共通であることが不可欠ですので必ず上記の箇所を守ってください。

◎緊急時

患者が話のできない状態でも救急隊員は玄関ドア、冷蔵庫扉のステッカーを目印に「安心カード」を取り出します。書かれた内容が緊急時の参考情報となります。

※ケースが円筒で比較的大きい理由：先行事例の失敗に基づいています。

- ・薄い箱形や小さいもの→冷蔵庫の奥に仕舞われる、他の品物の中にまぎれる。
 - ・冷蔵庫表面に紙自体を磁石等で貼りつける→美観が悪い。はがれて無くなる。
- 既に行われている先行例の方法に合わせることで救急現場での混乱が防げます。

◎メリット

- ・利用者は平常時に落ち着いて情報を記入できますので間違いを防げます。
- ・「安心カード」の保管場所が自宅なので無関係な第三者に個人情報を知られる恐れがほとんどありません。そのため利用者は安心して情報を記入できます。
- ・利用者が話のできない状態で、かつ家族がいなくても処置をしてくれる人に情報を知らせることが出来ます。

利用方法と申込先

自治会単位での導入が条件になります。但し、希望者のみで結構です。

必要機材は自治会様経由で当方から支給（無料）するとともに消防署には自治会様からお聞きした導入開始日や件数を連絡します。

※当方及び消防署には利用者個人名を提出する必要はありません。

◎（参考）当方から支給する必要機材

「安心カード」「カード保管用円筒プラスチックケース」「目印ステッカー（3枚/セット）」

※問合せ・申し込み

日野団塊世代広場 電話 042-843-8723 F A X 042-843-8925

〒191-0043 日野市平山2-1-1 日野市立平山台健康・市民支援センター内